

●年間指導計画

課題・テーマ	再生可能エネルギーの今を知り、未来を考えよう							
作成推進校	伊達市立伊達東小学校							
対象児童・生徒	第4学年（15名） 第5学年（23名） 第6学年（15名）							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合的な学習の時間			「地域の再生可能エネルギーの現状」 ・信夫山霊山小風力発電所見学 ・スズデン梁川発電所見学 (5年)		「地域資源を活用した再生可能エネルギー」 ・東鴉川小水力発電所見学 ・土湯温泉町第16号源泉バイナリー発電所見学 講演「再生可能エネルギーと町づくり」 (5年)	「再生可能エネルギーと会社」 ・白河データセンター見学 (5・6年)	「再生可能エネルギーと農業」 ・南相馬ソーラー・アグリパーク見学 (5・6年)	ポスターセッション (4～6年) 講演「これからの再生可能エネルギー」 (5・6年)
社会科					「ごみの処理と利用」 (4年)	あらかわクリーンセンター見学(4年)	これからの工業生産とわたしたち(5年)	
学校行事						学習発表会での発表(5年)		

●実践成果

総合的な学習の時間	<p>5学年を中心に再生可能エネルギーについて様々な施設見学を行い、体験を通して詳しく学ぶことができた。どの施設見学でも、テーマを決め、事前学習をしっかり行ったため、より深くテーマの追求を行うことができた。見学後には、見学で学んだことを自分たちでホームページに掲載し、積極的に情報発信することができた。</p> <p>1回目の講義では、地域資源の活用を通じた町づくりについてお話いただき、再生可能エネルギーの学習と共に、郷土の発展に努力する人々の姿から、自分たちのよりよい郷土づくりについて考えることができた。2回目の講義では、講義前に子ども達が学習のまとめを発表することで、足りない部分を補っていただいたり、これからも自分たちで学び続けることができるように助言していただいたりすることができた。いずれの講義でも、地球温暖化等の地球規模の問題を、自分たちの住む地域から解決していこうという意識を高めることができた。</p>
社会科	<p>4学年「ごみの処理と利用」の学習では、自分たちの生活から出るごみから学習課題を考え、調べ学習を行った。ごみ処理施設の見学に当たっては、ごみ処理と環境との関連から再生可能エネルギーも発展的に扱った。資源ごみの行方を詳しく教えていただくことで、リサイクルの大切さについて学んだ。このことにより、自分の生活を振り返り、自分たちにできる環境を守るための取り組みについて考えることができた。また、ごみを焼却する際の熱を利用して発電を行い、施設内の電力をまかなっていること、市内の小・中学校へ電気を供給していることを学んだが、事前に手回し発電を使った実験で発電のしくみを教えていただいたことで、より理解が深まった。</p> <p>5学年「これからの工業生産とわたしたち」では、日本の工業生産が抱える問題のうち、環境問題やエネルギー問題について、自分たちが行っている再生可能エネルギー学習を活かすことで、持続可能な社会への取り組みや、今後の社会に必要なことをまとめることができた。</p>
学校行事	<p>5年生が学習発表会において、再生可能エネルギーについての発表を行った。劇による発表としたことで、どの年齢層にも分かりやすく持続可能な社会への取り組みについて意識してもらうことができた。</p>